



# 未収債権の目標及び具体処理策

所属(課又は担当): 中央卸売市場 総務担当

## 1. 債権名及び整理番号(債権区分)

施設使用料	整理番号	1	区分:	公債権(強制徴収できない)
-------	------	---	-----	---------------

## 2. 未収金残高の推移(目標)

27実績	10,720 千円	28実績	11,598 千円		
29目標	12,476 千円	29実績	13,892 千円	30目標	9,949 千円

## 3. 徴収率及び整理率(不納欠損・調定変更)の実績及び目標

現年度	徴収率	27実績	99.9%	28実績	99.9%	29目標	99.9%	29実績	99.9%	30目標	100.0%
	整理率	27実績	99.9%	28実績	99.9%	29目標	99.9%	29実績	99.9%	30目標	100.0%
過年度	徴収率	27実績	36.6%	28実績	22.9%	29目標	21.2%	29実績	10.1%	30目標	35.1%
	整理率	27実績	36.6%	28実績	22.9%	29目標	21.2%	29実績	10.1%	30目標	42.5%

## 4. 29年度決算での未収金残高の状況

(件数、金額、債務者数(実人数))	合計	148 件	13,892 千円	18 人
	29年度賦課分	36 件	3,470 千円	
	28年度以前賦課分	112 件	10,422 千円	

### 回収債権

	計	97 件	11,421 千円
①処分したもののうち、換価前のもの		0 件	0 千円
②分納誓約・徴収猶予等		0 件	0 千円
③交渉中		97 件	11,421 千円

### 整理債権

	計	32 件	1,636 千円
④処分したもののうち、換価残で履行見込みのないもの		0 件	0 千円
⑤執行停止・徴収停止等の決定を行ったもの		18 件	605 千円
⑥時効年限を経過したもの		14 件	1,031 千円
⑦生活困窮状態で履行見込みのないもの		0 件	0 千円

## 5. 29年度の目標達成状況及び取組内容の検証など

### ○目標達成状況(未収金残高)

目標達成状況(現年度+過年度)		
	うち現年度	うち過年度
B1	B1	B1

A: 目標を達成

B1: 目標を達成できなかった(取組は予定どおり実施)

B2: 目標を達成できなかった(取組を予定どおり実施しなかった)

### ○現年度の取組内容の検証など

29年度 取組内容	29年度 取組実績
・滞納整理事務マニュアルに基づき、適正な徴収事務を行っていく。	・滞納整理事務マニュアルに沿って、徴収事務を行い、概ね適正な徴収事務を達成することができた。 ・電話及び面会での口頭による催告を行った。

課題	改善策
<ul style="list-style-type: none"> <li>・代表者行方不明等、突然営業を取りやめている業者が発生し、徴収が困難となる恐れがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種組合等団体と情報を共有し、把握に努める。</li> </ul>

○過年度の取組内容の検証など

29年度 取組内容	29年度 取組実績
<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在も市場内で営業している債務者で、分納誓約書の提出を受けている者については引き続き100%の回収を果たすよう注視する。</li> <li>・現在、市場内で営業していない債務者については、文書の発送や電話による連絡等接触を図り、納付を促す。</li> <li>・現在市場内で営業していない行方不明の債務者については、徴収停止に移行すべくこれまでに収集した情報を参考にしながら、当該処理に必要な情報を把握するように努める。</li> <li>・現在、破産手続き中の債務者については、手続き終了後に不納欠損手続きを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市場内での営業を行っていない業者に対しては、催告文の送付を行った。(1回)</li> <li>・市場内での営業を行っている業者に対しては、電話や訪問により、納付を促す等を行った。</li> <li>・分納誓約書の提出を受けている業者からは計画通り分納してもらった。(2業者)</li> <li>・分納誓約書の提出を受けているものについて、納付予定日を業者に確認し、納付書のコピーをもらいに行き納付したことを確認している。</li> <li>・現在市場内で営業していない行方不明の債務者について、情報収集をおこない、徴収停止の手続きのため事務処理をすすめている。</li> </ul>



課題	改善策
<ul style="list-style-type: none"> <li>・分割誓約者に納付書のコピーをもらいに行くも「明後日納付します」等分割納付が遅れることが見受けられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、納付完了までこまめに分割誓約者にコンタクトを取り、分割誓約は確実に納めてもらえることが前提となっている旨再度理解していただき納付をしてもらう。</li> </ul>

6. 30年度の取組内容 (5.「29年度の目標達成状況及び取組内容の検証など」の内容を踏まえて記載すること)

<p>○現年度分口</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・滞納整理事務マニュアルに基づき、適正な徴収事務を行っていく。</li> </ul>
<p>○過年度分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・滞納整理事務マニュアルに基づき、適正な徴収事務を行っていく。</li> <li>・現在も市場内で営業している債務者で、分納誓約書の提出を受けている者については引き続き100%の回収を果たすよう注視する。</li> <li>・現在市場内で営業していない行方不明の債務者及び、破産手続き中の債務者については、これまでに収集した情報を参考にしながら、債務者の情報把握に努め、徴収停止や不納欠損手続きを含めた適正な債権処理を行う。</li> </ul>

(参考)29年度実績及び30年度目標の他都市比較(未収金残高1億円以上の債権のみ)

--

# 未収債権の目標及び具体処理策

所属(課又は担当): 中央卸売市場 総務担当

## 1. 債権名及び整理番号(債権区分)

電気維持料	整理番号	2	区分:	私債権
-------	------	---	-----	-----

## 2. 未収金残高の推移(目標)

27実績	4,636 千円	28実績	4,693 千円		
29目標	4,780 千円	29実績	4,228 千円	30目標	3,154 千円

## 3. 徴収率及び整理率(不納欠損・調定変更)の実績及び目標

現年度	徴収率	27実績	99.9%	28実績	99.9%	29目標	99.9%	29実績	99.9%	30目標	99.9%
	整理率	27実績	99.9%	28実績	99.9%	29目標	99.9%	29実績	99.9%	30目標	99.9%
過年度	徴収率	27実績	9.2%	28実績	12.1%	29目標	11.9%	29実績	24.0%	30目標	39.6%
	整理率	27実績	9.2%	28実績	12.1%	29目標	11.9%	29実績	24.0%	30目標	39.6%

## 4. 29年度決算での未収金残高の状況

(件数、金額、債務者数(実人数))	合計	85 件	4,228 千円	19 人
29年度賦課分		33 件	659 千円	
28年度以前賦課分		52 件	3,569 千円	

### 回収債権

- ①処分したもののうち、換価前のもの
- ②分納誓約・徴収猶予等
- ③交渉中

計	41 件	797 千円
	0 件	0 千円
	0 件	0 千円
	41 件	797 千円

### 整理債権

- ④処分したもののうち、換価残で履行見込みのないもの
- ⑤執行停止・徴収停止等の決定を行ったもの
- ⑥時効年限を経過したもの
- ⑦生活困窮状態で履行見込みのないもの

計	44 件	3,431 千円
	0 件	0 千円
	26 件	3,123 千円
	18 件	308 千円
	0 件	0 千円

## 5. 29年度の目標達成状況及び取組内容の検証など

### ○目標達成状況(未収金残高)

目標達成状況(現年度+過年度)		
	うち現年度	うち過年度
A	B1	A

- A: 目標を達成
- B1: 目標を達成できなかった(取組は予定どおり実施)
- B2: 目標を達成できなかった(取組を予定どおり実施しなかった)

### ○現年度の取組内容の検証など

29年度 取組内容	29年度 取組実績
・滞納整理事務マニュアルに基づき、適正な徴収事務を行っていく。	・滞納整理事務マニュアルに沿って、徴収事務を行い、概ね適正な徴収事務を達成することができた。 ・電話及び面会での口頭による催告を行った。

課題	改善策
<ul style="list-style-type: none"> <li>代表者行方不明等、突然営業を取りやめている業者が発生し、徴収が困難となる恐れがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種組合等団体と情報を共有し、把握に努める。</li> </ul>

○過年度の取組内容の検証など

29年度 取組内容	29年度 取組実績
<ul style="list-style-type: none"> <li>現在も市場内で営業している債務者で、分納誓約書の提出を受けている者については引き続き100%の回収を果たすよう注視する。</li> <li>現在市場内で営業していない行方不明の債務者については、徴収停止に移行すべくこれまでに収集した情報を参考にしながら、当該処理に必要な情報を把握するように努める。</li> <li>現在、市場内で営業していない債務者については、文書の発送や電話による連絡等接触を図り、納付を促す。</li> <li>現在、破産手続き中の債務者については、手続き終了後に不納欠損手続きを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市場内での営業を行っていない業者に対しては、催告文の送付を行った。(1回)</li> <li>市場内での営業を行っている業者に対しては、電話や訪問により、納付を促す等を行った。</li> <li>分納誓約書の提出を受けているものについて、納付予定日を業者に確認し、納付書のコピーをもらいに行き納付したことを確認している。</li> <li>現在市場内で営業していない行方不明の債務者について、情報収集をおこない、徴収停止の手続きのため事務処理をすすめている。</li> </ul>



課題	改善策
<ul style="list-style-type: none"> <li>代表者行方不明等、突然営業を取りやめている業者が発生し、徴収が困難となる恐れがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種組合等団体と情報を共有し、把握に努める。</li> </ul>

6. 30年度取組内容 (5.「29年度の目標達成状況及び取組内容の検証など」の内容を踏まえて記載すること)

<p>○現年度分口</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>滞納整理事務マニュアルに基づき、適正な徴収事務を行っていく。</li> </ul>
<p>○過年度分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>滞納整理事務マニュアルに基づき、適正な徴収事務を行っていく。</li> <li>現在も市場内で営業している債務者で、分納誓約書の提出を受けている者については引き続き100%の回収を果たすよう注視する。</li> <li>現在市場内で営業していない行方不明の債務者及び、破産手続き中の債務者については、これまでに収集した情報を参考にしながら、債務者の情報把握に努め、徴収停止や不納欠損手続きを含めた適正な債権処理を行う。</li> </ul>

(参考)29年度実績及び30年度目標の他都市比較(未収金残高1億円以上の債権のみ)

--

# 未収債権の目標及び具体処理策

所属(課又は担当): 中央卸売市場 総務担当

## 1. 債権名及び整理番号(債権区分)

水道維持料	整理番号	3	区分:	私債権
-------	------	---	-----	-----

## 2. 未収金残高の推移(目標)

27実績	1,449 千円	28実績	1,398 千円		
29目標	1,347 千円	29実績	1,366 千円	30目標	1,066 千円

## 3. 徴収率及び整理率(不納欠損・調定変更)の実績及び目標

現年度	徴収率	27実績	99.9%	28実績	99.9%	29目標	99.9%	29実績	99.9%	30目標	99.9%
	整理率	27実績	99.9%	28実績	99.9%	29目標	99.9%	29実績	99.9%	30目標	99.9%
過年度	徴収率	27実績	17.0%	28実績	19.5%	29目標	20.2%	29実績	19.1%	30目標	36.3%
	整理率	27実績	17.0%	28実績	19.5%	29目標	20.2%	29実績	19.1%	30目標	36.3%

## 4. 29年度決算での未収金残高の状況

(件数、金額、債務者数(実人数))	合計	127 件	1,366 千円	21 人
29年度賦課分		29 件	235 千円	
28年度以前賦課分		98 件	1,131 千円	

### 回収債権

計	80 件	779 千円
①処分したもののうち、換価前のもの	0 件	0 千円
②分納誓約・徴収猶予等	0 件	0 千円
③交渉中	80 件	779 千円

### 整理債権

計	47 件	587 千円
④処分したもののうち、換価残で履行見込みのないもの	0 件	0 千円
⑤執行停止・徴収停止等の決定を行ったもの	35 件	530 千円
⑥時効年限を経過したもの	12 件	57 千円
⑦生活困窮状態で履行見込みのないもの	0 件	0 千円

## 5. 29年度の目標達成状況及び取組内容の検証など

### ○目標達成状況(未収金残高)

目標達成状況(現年度+過年度)		
	うち現年度	うち過年度
B1	B1	B1

A: 目標を達成

B1: 目標を達成できなかった(取組は予定どおり実施)

B2: 目標を達成できなかった(取組を予定どおり実施しなかった)

### ○現年度の取組内容の検証など

29年度 取組内容	29年度 取組実績
・滞納整理事務マニュアルに基づき、適正な徴収事務を行っていく。	・滞納整理事務マニュアルに沿って、徴収事務を行い、概ね適正な徴収事務を達成することができた。 ・電話及び面会での口頭による催告を行った。

課題	改善策
<ul style="list-style-type: none"> <li>・代表者行方不明等、突然営業を取りやめている業者が発生し、徴収が困難となる恐れがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種組合等団体と情報を共有し、把握に努める。</li> </ul>

○過年度の取組内容の検証など

29年度 取組内容	29年度 取組実績
<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在も市場内で営業している債務者で、分納誓約書の提出を受けている者については引き続き100%の回収を果たすよう注視する。</li> <li>・現在市場内で営業していない行方不明の債務者については、徴収停止に移行すべくこれまでに収集した情報を参考にしながら、当該処理に必要な情報を把握するように努める。</li> <li>・現在、市場内で営業していない債務者については、文書の発送や電話による連絡等接触を図り、納付を促す。</li> <li>・現在、破産手続き中の債務者については、手続き終了後に不納欠損手続きを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市場内での営業を行っていない業者に対しては、催告文の送付を行った。(1回)</li> <li>・市場内での営業を行っている業者に対しては、電話や訪問により、納付を促す等を行った。</li> <li>・分納誓約書の提出を受けている業者からは計画通り分納してもらった。(2業者)</li> <li>・分納誓約書の提出を受けているものについて、納付予定日を業者に確認し、納付書のコピーをもらいに行き納付したことを確認している。</li> <li>・現在市場内で営業していない行方不明の債務者について、情報収集をおこない、徴収停止の手続きのため事務処理をすすめている。</li> </ul>



課題	改善策
<ul style="list-style-type: none"> <li>・分割誓約者に納付書のコピーをもらいに行くも「明後日納付します」等分割納付が遅れることが見受けられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、納付完了までこまめに分割誓約者にコンタクトをとり分割誓約は確実に納めてもらえることが前提となっている旨再度理解していただき納付をしてもらう。</li> </ul>

6. 30年度の取組内容 (5.「29年度の目標達成状況及び取組内容の検証など」の内容を踏まえて記載すること)

<p>○現年度分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・滞納整理事務マニュアルに基づき、適正な徴収事務を行っていく。</li> </ul>
<p>○過年度分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・滞納整理事務マニュアルに基づき、適正な徴収事務を行っていく。</li> <li>・現在も市場内で営業している債務者で、分納誓約書の提出を受けている者については引き続き100%の回収を果たすよう注視する。</li> <li>・現在市場内で営業していない行方不明の債務者及び、破産手続き中の債務者については、これまでに収集した情報を参考にしながら、債務者の情報把握に努め、徴収停止や不納欠損手続きを含めた適正な債権処理を行う。</li> </ul>

(参考) 29年度実績及び30年度目標の他都市比較(未収金残高1億円以上の債権のみ)

--

# 未収債権の目標及び具体処理策

所属(課又は担当): 中央卸売市場 総務担当

## 1. 債権名及び整理番号(債権区分)

その他雑収益	整理番号	4	区分:	私債権
--------	------	---	-----	-----

## 2. 未収金残高の推移(目標)

27実績	14 千円	28実績	26 千円		
29目標	12 千円	29実績	0 千円	30目標	0 千円

## 3. 徴収率及び整理率(不納欠損・調定変更)の実績及び目標

現年度	徴収率	27実績	100.0%	28実績	99.9%	29目標	99.9%	29実績	100.0%	30目標	100.0%
	整理率	27実績	100.0%	28実績	99.9%	29目標	99.9%	29実績	100.0%	30目標	100.0%
過年度	徴収率	27実績	0.0%	28実績	0.0%	29目標	46.2%	29実績	100.0%	30目標	-
	整理率	27実績	0.0%	28実績	0.0%	29目標	46.2%	29実績	100.0%	30目標	-

## 4. 29年度決算での未収金残高の状況

(件数、金額、債務者数(実人数))	29年度賦課分	合計	0 件	0 千円	0 人
	28年度以前賦課分				

### 回収債権

- ①処分したもののうち、換価前のもの
- ②分納誓約・徴収猶予等
- ③交渉中

計	0 件	0 千円
	件	千円
	件	千円
	件	千円

### 整理債権

- ④処分したもののうち、換価残で履行見込みのないもの
- ⑤執行停止・徴収停止等の決定を行ったもの
- ⑥時効年限を経過したもの
- ⑦生活困窮状態で履行見込みのないもの

計	0 件	0 千円
	件	千円
	件	千円
	件	千円
	件	千円

## 5. 29年度の目標達成状況及び取組内容の検証など

### ○目標達成状況(未収金残高)

目標達成状況(現年度+過年度)		
	うち現年度	うち過年度
A	A	A

A: 目標を達成

B1: 目標を達成できなかった(取組は予定どおり実施)

B2: 目標を達成できなかった(取組を予定どおり実施しなかった)

### ○現年度の取組内容の検証など

29年度 取組内容	29年度 取組実績
・滞納整理事務マニュアルに基づき、適正な徴収事務を行っていく。	・滞納整理事務マニュアルに沿って、徴収事務を行い、概ね適正な調整事務を達成することができた。 ・電話及び面会での口頭による催告を行った。



課題	改善策

○過年度の取組内容の検証など

29年度 取組内容	29年度 取組実績
<ul style="list-style-type: none"> <li>・債権の回収が困難であるため、引き続き徴収停止に向けて所在・財産調査等の準備を進めていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その他雑収益の過年度分については、未収金は全て回収できた。</li> </ul>



課題	改善策

6. 30年度の取組内容（5.「29年度の目標達成状況及び取組内容の検証など」の内容を踏まえて記載すること）

○現年度分

- ・滞納整理事務マニュアルに基づき、適正な徴収事務を行っていく。

○過年度分

- ・滞納整理事務マニュアルに基づき、適正な徴収事務を行っていく。

（参考）29年度実績及び30年度目標の他都市比較（未収金残高1億円以上の債権のみ）

# 未収債権の目標及び具体処理策

所属(課又は担当): 中央卸売市場 総務担当

## 1. 債権名及び整理番号(債権区分)

原状回復費用	整理番号	5	区分:	私債権
--------	------	---	-----	-----

## 2. 未収金残高の推移(目標)

27実績	378 千円	28実績	378 千円		
29目標	378 千円	29実績	378 千円	30目標	0 千円

## 3. 徴収率及び整理率(不納欠損・調定変更)の実績及び目標

現年度	徴収率	27実績	-	28実績	-	29目標	-	29実績	-	30目標	-
	整理率	27実績	-	28実績	-	29目標	-	29実績	-	30目標	-
過年度	徴収率	27実績	0.0%	28実績	0.0%	29目標	0.0%	29実績	0.0%	30目標	100.0%
	整理率	27実績	0.0%	28実績	0.0%	29目標	0.0%	29実績	0.0%	30目標	100.0%

## 4. 29年度決算での未収金残高の状況

(件数、金額、債務者数(実人数))	合計	1 件	378 千円	1 人
29年度賦課分		0 件	千円	
28年度以前賦課分		1 件	378 千円	

### 回収債権

- ①処分したもののうち、換価前のもの
- ②分納誓約・徴収猶予等
- ③交渉中

計	0 件	0 千円
	件	千円
	件	千円
	件	千円

### 整理債権

- ④処分したもののうち、換価残で履行見込みのないもの
- ⑤執行停止・徴収停止等の決定を行ったもの
- ⑥時効年限を経過したもの
- ⑦生活困窮状態で履行見込みのないもの

計	1 件	378 千円
	件	千円
	件	千円
	1 件	378 千円
	件	千円

## 5. 29年度の目標達成状況及び取組内容の検証など

### ○目標達成状況(未収金残高)

目標達成状況(現年度+過年度)		
	うち現年度	うち過年度
B1		B1

A: 目標を達成

B1: 目標を達成できなかった(取組は予定どおり実施)

B2: 目標を達成できなかった(取組を予定どおり実施しなかった)

### ○現年度の取組内容の検証など

29年度 取組内容	29年度 取組実績
・滞納整理事務マニュアルに基づき、適正な徴収事務を行っていく。	原状回復費の未収金は発生しなかった。

課題	改善策

○過年度の取組内容の検証など

29年度 取組内容	29年度 取組実績
<ul style="list-style-type: none"> <li>・債権の回収が困難であるため、引き続き徴収停止に向けて所在・財産調査等の準備を進めていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・催告文の送付を行った。(1回)</li> </ul>



課題	改善策
<ul style="list-style-type: none"> <li>・催告文が債務者に到着したことにより、徴収停止については再度、検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も催告を行うとともに、その手段について、手法等を検討していく。</li> </ul>

6. 30年度の取組内容 (5.「29年度の目標達成状況及び取組内容の検証など」の内容を踏まえて記載すること)

<p>○現年度分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・滞納整理事務マニュアルに基づき、適正な徴収事務を行っていく。</li> </ul>
<p>○過年度分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・滞納整理事務マニュアルに基づき、適正な徴収事務を行っていく。</li> </ul>

(参考) 29年度実績及び30年度目標の他都市比較(未収金残高1億円以上の債権のみ)

--